

ANNIVERSARY

第15回

あきる野市の 若き音楽家フェスタ



毛利 咲良
(ピアノ)



倉田 悦子
(オーボエ)



写真 Segi Shinnichi

賛助出演
樋口 達哉
(テナー)



写真 平野太呂

青木 尚哉
(ダンス)



西澤 健一
(ピアニスト・作曲家)

さくらぎバレエアカデミー



あきる野シティー・チェンバーオーケストラ



料金

1,000円(自由席)

会場

秋川キララホール

問合せ・チケット

NPO法人市民プロジェクト21 TEL 042-550-3721
秋川キララホール TEL 042-559-7500

2018年

1月6日(土)

開場13:30 開演14:00

主催：NPO法人 市民プロジェクト21 共催：秋川キララホール ※未就学児の入場はできません。

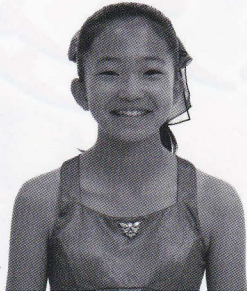
ご挨拶

このたび秋川キララホール様の認定、ご協力のもと、音楽ボランティアNPO法人市民プロジェクト21は、第15回あきる野市の若き音楽家フェスタを開催する運びとなりました。

本フェスタは、“今、世界に雄飛を”との熱い想いを込めて、あきる野市出身(在住、在勤、在学)また会の趣旨に賛同し、若い音楽家のためにお力添えを下される方々のご支援を頂き、世界のヒノキ舞台上の活躍を目指す、若手音楽家を応援するための、合同発表会です。お蔭様で第1回より各フェスタとも、皆様から「素晴らしい音楽会で心から感動した」と賞賛の言葉を頂くなど、大好評を博しました。今回も才能豊かな前途洋々な出演者に恵まれ、これまでと同様の感動的な音楽会になるものと確信しております。どうぞご期待頂きたいと思っております。

市民プロジェクト21では、次世代を担う若者、子どもたちの様々な分野の可能性を引き出し、才能を育むとともに、真に豊かで文化の薫り高い街づくりに貢献するため、本フェスタのさらなる充実、発展を目指す所存です。どうか今後とも多くの皆様の力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

NPO 法人市民プロジェクト 21



毛利 咲良 ピアノ

05年あきる野市生まれ。
5歳より横浜ミュージックアカデミーにてピアノを始め、井上絵美先生、須藤昌子先生に師事。
第31回、第33回ピアノオーディション奨励賞受賞。全国町田ピアノコンクールD部門第3位。
あきる野市一の谷小学校6年。



写真 平野 太呂
青木 尚哉 ダンス

16才よりダンスを始め、ジャズダンス、クラシックバレエ、モダンダンスの基礎を学ぶ。加えてボディワークを学び、身体の構造に対する知を深め、自身のメソッド「ポイントワーク」を開発。全国各地でのワークショップを展開。指導ほか作品を多数提供している。近年は一般的な社会における「ダンスの活用」について視野を広げ、小学校への派遣授業や、地域公共ホールとのワークショップ公演なども手がける。04～08年、Noism 在籍。2015年、日本バレエ協会にて「互いニ素」を発表。2017年、『Dance Summit in Japan 2017』創作ダンス部門にてグランプリ、及び経済産業大臣賞を受賞。2017年～studio ARCHITANZ アーティスト・サポート・プログラム、サポート対象アーティストに選出。「青木尚哉グループワーク&リサーチ プロジェクト」を始動。



倉田 悦子 オーボエ

あきる野市多西小、秋多中学校出身。
幼少の頃よりピアノを、15才よりモダンオーボエを始め故丸山盛三氏に師事。
バロックオーボエを三宮正満氏に師事。
国立音楽大学器楽科オーボエ専攻卒業。
モーリス・ブルグ氏のマスタークラスを修了。
東京文化会館新進音楽家オーディション室内楽部門に合格。
東京文化会館大ホールでのデビューコンサート、同会館小ホールでのフォローコンサートに同会館の推薦を受け出演。
現在、モダンオーボエ・バロックオーボエの演奏活動の他、後進の指導も積極的に行っている。



さくらぎバレエアカデミー

さくらぎバレエアカデミーは、2000年に日の出町のさくらぎ保育園で開校し、2010年よりあきる野市内に場所を移しました。

クラシックバレエのレッスンを通じて、音楽に合わせて踊る楽しさ、集中力、豊かな表現力を学び、身体の成長に応じて組み立てられたカリキュラムによるレッスンで美しい姿勢、均整の取れた身体を作ることを目指して、あきる野市の豊かな自然に育まれた生徒たちと、お稽古をしています。

ホームページ <http://sakuragi-ballet.com/info.html>
さくらぎバレエアカデミー 三宅彩子



西澤 健一 ピアニスト・作曲家

78年東京生まれ。97年国立音楽大学中退。第4回東京国際室内楽作曲コンクール第1位ほか賞歴多数。05年10月、日墨文化協定発効50周年を記念し日本が招待国として指定された第33回セルバンティノ国際芸術祭において「ピアノ三重奏曲第2番」が團伊玖磨のオペラ「夕鶴」とともに日本を代表するクラシック作品としてヴァイオリニストの黒沼ユリ子氏らによって紹介され、新聞各紙で絶賛される。ミラノ・スカラ座響首席チェロ奏者サンドロ・ラフランキーニ氏主宰のピアノ三重奏団アルトゥス・トリオによる初の室内楽作品集がリメンミュージックより15年4月にイタリアでリリースされた。01年5月、6月にブリュッセルで個展を開催して以来、自作自演を中心に演奏活動も活発に行うほか、コラムの連載、演劇への出演など、多岐に渡る独自の活動を展開している。



あきる野シティー・チェンバーオーケストラ

2002年にプロジェクト21の呼びかけで創立された弦楽合奏団。演奏曲は古典、バロックの弦楽合奏曲が中心ですが、時には管楽器や鍵盤奏者をゲストに招いて協奏曲を演奏することもあります。

福田夏絵さんに指揮を、N響ピオラ奏者の御法川雄矢さんに弦の指導をお願いしています。NPO法人市民プロジェクト21の支援で活動中。

只今団員募集中! akiruno_chamber@yahoo.co.jp



写真 Segi Shinnichi

賛助出演
樋口 達哉 テノール

福島県出身。武蔵野音楽大学及び同大学院修了後ミラノ留学。'98ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエーム』でデビュー後、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場管弦楽団等と共演。'10年ミラノ大聖堂とヴァチカンでのコンサートで大成功をおさめ、'14年にはイタリアとサン・マリノでリサイタルを開催。国内でも新国立劇場や二期会等で常に主演し高い評価を得る。本年2月『トスカ』(二期会)、6月『ラ・ボエーム』(日生劇場)で大絶賛を浴びる。その他『NHKニューイヤーパー』『題名のない音楽会』等でも活躍。イタリアの太陽を想わせる輝きのある声と華を持ちあわせた日本を代表するテノールとして多くの聴衆を魅了している。ソニーよりCDを二枚リリース。3月『ノルマ』(二期会)に出演予定。二期会会員。武蔵野音楽大学、東京芸術大学各講師。
ホームページ: <http://www.higuchi-tatsuya.com/>

切り取り

予約も承っておりますので、FAXかEメールにてお申し込み下さい。

NPO法人 市民プロジェクト21
TEL・FAX 042-550-3721

E-mail: isao-mz@mug.biglobe.ne.jp

ふりがな 氏名	連絡先電話番号
	Eメールアドレス
住所 <input type="text"/>	購入枚数
	枚